

# 製品安全データシート

## 【製品名及び会社情報】

製品名：Jパットメルト  
会社情報：会社 日立化成ポリマー株式会社 住所 千葉県野田市中里200番地  
担当部門 野田工場 開発部 緊急連絡先 野田工場 品質保証部  
電話番号 04-7129-1154 F A X 番号 04-7129-6316

## 【整理番号】N - Jパットメルト

作成 2000年11月20日

改訂 1 2003年5月9日

## 【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名：EVA系ホットメルト接着剤

一般名：ホットメルト接着剤

成分及び含有量：EVA（エチレン-酢酸ビニル共重合体）、樹脂等100%

## 【危険有害性の要約】 分類の名称：分類基準に該当しない。

危険性：加熱溶融した製品が皮膚に付着すると火傷を起こす。

有害性：加熱溶融時に生じる蒸気は、目、鼻、喉を刺激することがある。

## 【応急措置】

目に入った場合：加熱溶融状態の製品が目に入った場合は、直ちに水で冷却し、眼科医の手当をうける。目をこすったり無理に開けさせてはならない。

皮膚に付着した場合：加熱溶融状態の製品が皮膚に付着した場合は、直ちに流水で冷却し、火傷に対する医療処置を行う。

蒸気を吸入した場合：常温で蒸気は発生しない。加熱溶融時に発生する蒸気を大量に吸入した場合は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、必要に応じ医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：生理学的には不活性であり、消化されずに排泄される。異常を感じるようであれば、医師の診断を受ける。

## 【火災時の措置】

消火方法：水散布、粉末消火器、炭酸ガス消火器、乾燥砂、泡消火剤等を用いる。  
大規模火災の場合、溶融した製品に水散布すると、熱水又は溶融した製品が飛び散ることがあるので、この場合は泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。消火作業は保護具を着用して風上から行う。消火後は、製品の内部が冷却するまで口 - プを張り、人の立入りを禁止する。

消火剤：水、粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、泡、乾燥砂が有効である。

【漏出時の措置】加熱溶融した製品が漏出した場合は、冷却してから取り除く。溶融状態で回収する必要がある場合は、保護具を着用する。

## 【取扱い及び保管上の注意】

取扱い：換気の良い場所で行う。容器を転倒、落下、衝撃等、粗暴な取扱いをしない。専用の溶融機器、塗付機器を使用し、火傷防止の措置をとる。

溶融温度は、製品説明書に示す使用温度範囲内とする。

保管：冷暗所に保管する。

開封した使用中の包装容器にゴミ、水などが入らないようにする。

【暴露防止及び保護措置】

設備対策：密閉式の溶融機器を用いることが望ましい。

取扱い場所には、局所排気装置を設ける。

火傷対策設備。

保護具（取扱い時には火傷防止の措置をとる。）

呼吸用保護具：特に必要なし。

保護眼鏡：普通眼鏡・側板付き普通眼鏡・ゴ-グル型保護眼鏡

保護手袋：綿製手袋・耐熱手袋

保護衣：長袖作業衣・安全靴・前掛け

【物理・化学的性質】 外観等：淡黄色固体 軟化点：約100（環球法）

溶解度：水に不溶 比重：約0.95（20）

引火点（セタ密閉式）：200 以上

【安定性及び反応性】

安定性・反応性：通常の実取扱い条件においては安定。200 を越える温度では徐々に低分子化し、粘度低下を起こす。

【有害性情報】

刺激性：溶融時に生じる蒸気は、皮膚、目、鼻、喉を刺激することがある。

固体のときは、特になし。

その他：現在のところ知見なし。

【環境影響情報】

現在のところ知見なし。

【廃棄上の注意】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、廃プラスチック類に該当する。

許可を受けた処理業者に委託するか、焼却設備で焼却する。

【輸送上の注意】

運搬に際しては容器に漏れのないことを確め、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。雨や水に濡らさないように注意する。

国連分類及び国連番号：国連の定義上、危険物に該当しない。

【適用法令】

火災予防条例：指定可燃物 可燃性固体類（3,000kg）。

PRT法：該当しない。

労働安全衛生法（第57条通知対象物質）：該当しない

【その他の情報】

ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気汚染対策の為の自主管理規定

登録No J A I A - 0 0 0 5 4 6 F -

---

危険、有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。

【改訂履歴】

改訂1：ホルムアルデヒド基準項目追加